

平成 28 年度入学者選抜学力検査問題(前期日程)

数 学

I ・ II ・ A ・ B

(地域学部)

(注 意)

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は 4 ページ，解答用紙は 4 枚である。  
指示があってから確認すること。
3. 解答はすべて解答用紙の指定のところに記入すること。  
解答用紙の表面だけで書ききれない場合は，裏面の下半分  
を使用することができる。
4. 解答用紙は持ち帰ってはならないが，問題冊子は必ず持ち  
帰ること。

- 〔Ⅰ〕 3 辺の長さが  $x$ ,  $x+1$ ,  $x+2$  である三角形が鈍角三角形となるような  $x$  の値の範囲を求めよ。



解 答

△ABC

△ABC

△ABC の 3 辺の長さは  $x$ ,  $x+1$ ,  $x+2$  である。

△ABC が鈍角三角形となるのは、次のいずれの場合である。

(1) 頂角 A が鈍角の場合

このとき、 $x^2 + (x+1)^2 < (x+2)^2$  である。

これを整理すると、 $x^2 - 2x - 1 < 0$  である。

これを解くと、 $x < 1 - \sqrt{2}$  または  $x > 1 + \sqrt{2}$  である。

△ABC が三角形となるためには、 $x > 0$  である。

したがって、 $x > 1 + \sqrt{2}$  である。

〔Ⅱ〕 白玉が6個，赤玉が5個入った袋がある。以下の問いに答えよ。

- (1) 袋の中の玉がなくなるまで袋から玉を1個ずつ取り出すとき，最初に赤玉が連続して4個出て，かつ最後に赤玉が出る確率を求めよ。
- (2) 袋の中の玉がなくなるまで袋から玉を1個ずつ取り出すとき，白玉と赤玉が交互に出る確率を求めよ。
- (3) 袋から5個の玉を同時に取り出すとき，白玉1個につき1000円をもらい，赤玉1個につき500円を支払うものとする。このとき，もらった金額の合計額が支払った金額の合計額を上回る確率を求めよ。

〔Ⅲ〕 数列  $\{a_n\}$  を以下のように定める。

$$1^2, 1^2 + 3^2, 1^2 + 3^2 + 5^2, \dots, 1^2 + 3^2 + 5^2 + \dots + (2n-1)^2, \dots$$

また、数列  $\{b_n\}$  を以下のように定める。

$$2^2, 2^2 + 4^2, 2^2 + 4^2 + 6^2, \dots, 2^2 + 4^2 + 6^2 + \dots + (2n)^2, \dots$$

このとき、以下の問いに答えよ。ただし、 $n$  は自然数とする。

- (1) 数列  $\{a_n\}$  の第  $n$  項を  $n$  を用いて表せ。
- (2) 数列  $\{a_n - b_n\}$  の第  $n$  項を  $n$  を用いて表せ。
- (3)  $c_n = a_{n+1} - b_n$  とおくとき、 $c_n > 100(n+1)$  となる最小の  $n$  を求めよ。

〔Ⅳ〕  $xy$  平面上に 2 点  $A(0, 1)$ ,  $B(-2, 0)$  と円  $C: x^2 + y^2 - 2y = 0$ , および直線  $\ell: y = kx + 2k$  がある。ただし,  $k$  は実数とする。

- (1) 点  $A$  と直線  $\ell$  の距離を  $k$  を用いて表せ。
- (2) 直線  $\ell$  と円  $C$  が異なる 2 点で交わるように,  $k$  の値の範囲を求めよ。
- (3) 直線  $\ell$  と円  $C$  が異なる 2 点  $P, Q$  で交わるとする。線分  $PQ$  について,  $PQ = 2\sqrt{k}$  が成り立つとき,  $k$  の値を求めよ。
- (4) (3)で求めた  $k$  に対する直線  $\ell$  と直線  $AB$  のなす角を  $\theta$  とする。このとき,  $\tan \theta$  の値を求めよ。ただし,  $0 \leq \theta < \frac{\pi}{4}$  とする。